

夜間例会 米山奨学生 歓送会



週報

Vol.436

2017年
3月29日



2017-2018年
会長
山田 実



会員
青田 真



例会プログラム 第36回 【通算第436回】

開会点鐘／会長の時間／感謝状授与／修了書授与／米山奨学生の時間／幹事報告／各委員会報告／出席報告／閉会点鐘

会場：原町フローラ

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長の時間

今日は、オーディ君の歓送会です。一年間、長いような短いような、いろんな思い出が浮かんできます。私は、個人的にイチローの大ファンで、イチロー会話の本から感動した所を抜粋し今回から会長の時間で、紹介します。イチロー親子は、毎日同じことを繰り返します。私にも男の子が、3人います。遊びには、よく連れて行きましたが、同じことを毎日繰り返して続ける事は出来なかったと思います。父親の存在の大切さを感じさせられました。

会員数28名 出席数14名 出席率50%

米山奨学生の時間

今日が例会での最後のスピーチです。一年間、ものすごい早いスピードで過ぎ去っていきました。ロータリーでの思い出が沢山できました。研修旅行でロータリーの方々とは仲良くなり、地区大会でロータリーの大きさを感じ、体験発表、他のクラブでのゲストスピーチ、月1回の例会の参加、山田会長との東京見学、小澤会員の自宅に何度も泊めて頂き、家族やペットの犬と仲良くなったこと、皆さんとシェルターで楽しく飲んだことなどです。ロータリーでの一年



間は得たものが沢山あります。財政的に助かり、メンタル面でも支えになりました。皆さんのような成功した方々と話ことで自分も将来頑張りたいという気持ちになりました。ロータリークラブの方々には、非常に心がきれいで、人を助けたいと思う人たちです。自分も将来、ロータリアンになって、皆さんと行動を共にし、人を助けたいと思います。一年間ありがとうございました。そして、これからも宜しくお願いします。

「感謝状授与」 米山カウンセラー 荒明 健 会員

カウンセラーの荒明健会員に感謝状が授与されました。

米山奨学生のカウンセリングに尽力され、その功績を讃えられ送られました。

この一年間、大変御苦勞様でした。会員一同、心からの労いと感謝をいたします。



「日野皓正クインテット 復興ライブ」 @ FUKUSHIMA-CITY



3月26日（日）福島南ロータリークラブ主催による、日野皓正クインテット復興ライブが福島市公会堂にて開催されました。定員席数 1270 席がほぼ満席となる大盛況となり、プロの華麗なパフォーマンスに会場からは大歓声があがりライブは終了しました。ロータリークラブが団結し、地域に貢献するこの企画取組みは公共イメージアップに繋がることを確信しました。当日、当クラブから 15 名の会員と家族が参加し、受付や来場者の誘導など手伝いを行い、主催クラブ実行委員長の野地氏よりステージ上から御礼の言葉を頂戴しました。

日野皓正氏は日本を代表する世界的ジャズトランペッター。共催する東京青山ロータリークラブの名誉会員であり、2011年 12 月には当クラブ主催によって南相馬市民文化会館で開かれた「夢・希望・未来 がんばれ南相馬 日野皓正クインテットライブ」で熱気あふれるステージを繰り広げ、震災の爪痕残る当地域に希望のエールを届けてくれました。

オーディ君送別会 3月29日

この日は、彼の大学院卒業のお祝いとお別れを兼ねた送別会が開催されました。各会員からのショートメッセージは、思い出あり、辛口コメントあり、笑いあり、涙ありと、独り立ちする我が子、もしくは弟に送る言葉が飛び交い、それは叱咤激励・愛溢れるものばかりでした。福島はもちろん、日本をリードするロータリアンへの成長とその活躍が楽しみです。同じ時を過ごした仲間。これからも会員一同応援します。いつでも例会に出席して下さい。おめでとう！そして、ありがとう！



米山奨学生 サインバン,オドバヤル(オーディ君)のレポート

世界は不平等である。生まれた場所と生まれた時代に、その人の人生は大きくされている。戦争が起きている場所で生まれ、幼いながら命を落とす子供、学校に行けず、読み書きできない子供、家族を支えるために働かざるを得ない子供もいる。彼らには人生を変えられる力は決してない訳ではない。ないのは、チャンスだけである。

機会の貧困は、現在の世界を蝕んでいる。平和の国に生まれた子供、裕福な家庭に生まれた子供はより良い学校に通学し、より良い人生を歩む。しかし、母上の腹の中にいる子供にはそれらを選択することはできない。世界の発展の最終ゴールはどこにあるかについては、人それぞれの考えがことなると思う。私の中では全ての命が平等の機会を持ち、そこからそれぞれの人生を外部の制限などなしに選択できる世界が理想と思う。つまり、スタートラインが一緒であり、最低限の教育は全員平等に受けられる機会が与えられ、その中で子供たちはそれぞれの生き方を選び、勉学に励む世界を作りたい。真の平等は、完全平等の状況をスタートした競争である。その競争の中で人は成長し、己の強さと弱さを知る。

私は、モンゴルで革命が起こり終えた1992年に生まれた。何もかもない状況の中で育った。将来は暗く、世の中は不平等で残酷な場所だとずっと思っていた。しかし、より良い人生を手に入れるためには、愚痴を言い、弱音を吐く時間があったら、己を磨き努力をするのが妥当である。自分だけの力だけだと、本の少ししか進めない。人間はずっと誰かに助けられ、生きる。必死に勉学に励み、機会を待っていた私に、救いの手をさし伸ばしてくれたのが奨学金という存在だった。人の人生を大きく左右させるのは、家庭の教育のほか、学問であると思う。教育と道徳、つまり、力と心を手に入れた人は強いと考える。

私は機会の貧困をなくしたい。そのために、世界中に奨学金を出せる財団を作りたい。



幹事報告

- 原町ロータリークラブより、5月28日(日)沖釣り開催の案内がきています。
- ガバナー事務所より4月23日(日)第2回クラブ奉仕委員会セミナーの案内がきています
- 緊急理事会で、地区補助金に「石神スポーツ少年団への寄付」を申請すること、デジタルカメラを購入することが決定しました。



南相馬ロータリークラブ Since.2007

会長：山田 実 / 副会長：宮城 住夫 / 幹事：荒明 健

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：フローラ原町 南相馬市原町区高見町2丁目30-6

事務局：南相馬市原町区錦町2丁目68-6 TEL:0244-23-1268 FAX:0244-26-5935